

【3つの施策の柱に共通する取組】

＜産学行政の連携による産業人材育成体制の強化＞

- 産業人材育成施策に係る関係者の連携を一層促進するため、労働局産業人材育成課内に「愛知県産業人材育成支援センター」を設置し、実効性の高い事業を実施
- 企業の現場や行政の施策に精通した「産業人材育成連携コーディネーター」を配置し、企業訪問等により中小企業の人材育成に係る課題を把握し、従業員に必要な職業訓練プログラムを提案するなど、きめ細かく対応
- 職業訓練・研修、キャリア情報等の産業人材育成情報を一元化・見える化したポータルサイト「ひと育ナビ・あいち」を運営し、最新の情報を発信

2019年度取組状況（2018年度実績）

- ・コーディネーターによる訪問等件数：121件（440件）
- ・コーディネーターによる支援（相談）件数：73件（199件）
（あいち技の伝承士派遣、専門学校におけるオーダーメイド訓練等）
- ・ポータルサイト「ひと育ナビ・あいち」のコンテンツ充実
トップページビュー件数：4,012件（16,804件）

- 庁内の横断組織である「産業人材育成・確保促進プロジェクトチーム」において、連携、情報共有を進め、「あいち人財力強化プロジェクト」として、産業人材育成の取組を推進

2019年度取組状況（2018年度実績）

- ・産業人材育成・確保促進プロジェクトチーム会議の開催：2回（2回）

＜県立高等技術専門校の見直し・機能充実＞

- 高等技術専門校の機能強化を図るため、組織再編と施設・設備の整備を実施

2019年度取組状況

- ・一宮、窯業、高浜の各高等技術専門校を廃止し、窯業高等技術専門校は名古屋高等技術専門校の下部組織に再編するとともに、組込みシステム科やインテリア科など新たな訓練科を創設
- ・訓練科の新設に必要な訓練機器の整備
- ・在職者訓練の定員を630人から800人に拡大

- 高等技術専門校において、産業界のニーズを踏まえたモノづくり人材を育成

2019年度取組状況（2018年度実績）

- ・普通課程訓練の実施：5コース131人（5コース117人）
- ・在職者訓練の実施：22コース198人（63コース650人）

- 県立高等技術専門校において、中小企業の要望に応じた訓練（オーダーメイド型訓練）を実施するとともに、企業実習を伴う職業訓練施設や専修学校等を活用した公共職業訓練などを実施

2019年度取組状況（2018年度実績）

- ・オーダーメイド型訓練の実施：現時点なし（10コース112人）
- ・企業実習型訓練の実施：8コース117人（17コース217人）
- ・離転職者等再就職訓練の実施：95コース1,235人（271コース3,773人）
内、介護・福祉分野訓練の実施：24コース182人（54コース487人）
託児サービスの実施：6コース6人〔児童6人〕（42コース50人〔児童59人〕）

＜技能五輪全国大会及び全国アビリンピックの開催準備＞

- 2019年度技能五輪全国大会・全国アビリンピックの開催に向けた準備を進めるとともに、2020年度技能五輪全国大会・全国アビリンピック実施計画を検討

2019年度取組状況

- ・第57回技能五輪全国大会・第39回全国アビリンピック（あいち技能五輪・アビリンピック2019）への愛知県選手団派遣（11月）
- ・2019年度大会のボランティア・技能ガイドの募集・育成
- ・2019年度大会の100日前イベント等の実施
- ・愛知県国際展示場での合同公開練習会の開催
- ・2020年度技能五輪全国大会・全国アビリンピック実施計画の策定



AICHI
2019-2020
大会ロゴマーク

「その技に誇りと感動あいちから」
大会スローガン

2018年度実績

- ・第56回技能五輪全国大会・第38回全国アビリンピック（おきなわ技能五輪・アビリンピック2018）への愛知県選手団派遣（195人）
- ・2019年度技能五輪全国大会・全国アビリンピック1年前イベントの実施（11月）
- ・2019年度大会実施計画の策定（3月）
- ・2020年度技能五輪全国大会・全国アビリンピック大会基本計画の策定

＜2019年度大会の概要＞

区分	技能五輪全国大会	全国アビリンピック
開催日程	11月15日（金）～18日（月）	11月15日（金）～17日（日）
式典会場	愛知県国際展示場（Aichi Sky Expo）	
競技会場	同上 ポリテクセンター中部 他	同上
職種・種目	42職種 （旋盤、電工、美容等）	23種目 （機械CAD、家具、洋裁等）
参加者数（計画）	約1,400人	約400人
目標来場者数	20万人以上	

【計画のアウトプット指標】

項目	目標数値	2018年度実績	2017年度実績	2016年度実績	進捗状況 1	進捗状況 2
①産業人材育成連携コーディネーターの企業向け技能習得支援コーディネート件数	40件/年度	199件	104件	190件	達成	コーディネーターに対する相談事項は多岐に渡っていることから、今後とも、中小企業の課題等を的確に把握し、必要な支援メニューを提案、情報提供していく。
②産業人材育成ポータルサイトトップページビュー件数	60,000件/年度	16,804件	16,565件	25,885件	達成が困難	ポータルサイトに掲載するコンテンツについては、中小企業の魅力情報等毎年充実させてきたところであるが、ページビューに結び付いていない。ターゲットとする新卒・求職者に関心を持ってもらうよう、SNSを効果的に活用し、アクセス増につなげる。
③愛知県産業人材育成連携会議の開催回数	2回/年度	休止	休止	2回	その他	2017年度から休止。 愛知県政労使協議会において、人材育成に関する新たな課題が議題として取り上げられ、より議論を深める必要がある場合や具体的な取組を検討する必要性が生じた場合に開催することとしたため。
④産業人材育成・確保促進プロジェクトチーム開催回数	2回/年度	2回	2回	2回	達成	人材育成・確保の取組は年々重要性が高まっており、引き続き、庁内横断的な組織において、連携・情報共有を図っていく。
⑤普通課程の普通職業訓練修了者の就職率	95%	98.5%	97.6%	93.8%	達成	2019年度に「組込みシステム科」など新たな訓練コースを開設したところであるが、今後とも産業界のニーズ等を踏まえた訓練コースやカリキュラムの設定に努めていく。
⑥在職者訓練生数600人/年度(2020年度までに)	600人/年度	650人	571人	588人	達成	2019年度は定員800人を計画しており、2020年度は更に定員の拡充を予定している。
⑦短期課程の普通職業訓練修了者(雇用セーフティネット)の就職率	70%	74.8%	76.8%	72.9%	達成	2018年度の長期高度人材育成コースなど新たな訓練コースを設定しているが、今後も求職者のニーズ等に対応した新たな訓練コースの設定に努めていく。
⑧技能五輪全国大会参加者数	200人	195人	196人	200人	概ね達成	目標達成に向け、引き続き、選手の育成強化を図っていく。

【凡例】

- ・達成：目標数値を達成又は上回る
- ・概ね達成：目標数値の80%以上
- ・進展が大きくない：目標数値の70%以上
- ・達成が困難：目標数値の70%未満
- ・その他：事業終了等に伴い、今後の進捗把握が不可

【施策の柱①：高度なモノづくりに向けた人材の育成支援】

＜モノづくりの基盤強化に向けた人材の育成支援＞

- 民間企業や中小企業団体等が行う職業訓練の認定、技能検定等の技能評価や優秀な技能者を「あいちの名工」として表彰

2019年度取組状況（2018年度実績）

- ・認定職業訓練生数：22,260人見込み（20,576人）

- 航空機の増産・量産化に対応した研修等を実施

2019年度取組状況（2018年度実績）

- ・航空機製造技能者育成講座 受講者数：600人日（360人日）
- ・生産技術者養成研修 受講者数：50人日（27人日）
- ・品質保証実務研修 受講者数：50人日（44人日）
- ・高校生インターンシップ：100人日 10社（98人日 11社）

- あいち産業科学技術総合センターにおいて、中小企業や小規模企業者を対象に、セミナーや新技術講演会、計測分析機器実習等を実施

2019年度取組状況（2018年度実績）

- ・セミナー、新技術講演会の実施
参加者数：213人（1,394人）
- ・シンクロトロン光計測入門講習会・測定解析実習の実施
参加者数：未定（17人）

＜ビジネス環境の変化に対応する人材育成の強化＞

- 県内の中小企業におけるIoTの活用促進のため、主に製造業を対象に、IoT技術関連のセミナーや工場見学会を実施

2019年度取組状況（2018年度実績）

- ・参加者数：前年度と同規模を予定（319人）
- ・新たにIoT導入に向けた講座の開催

- グローバル化に対応する人材の育成を図るため、県内企業が多数進出している東南アジアにおいて、専門高校生の海外インターンシップを実施

2019年度取組状況（2018年度実績）

- ・専門高校生8人がタイでのインターンシップを実施（8人、マレーシア）

- 外国人留学生の県内企業就職促進のため、留学生を対象としたインターンシップ、企業見学ツアー等を実施

2019年度取組状況（2018年度実績）

- ・外国人留学生インターンシップ事業
参加留学生数：188人（137人）、うちマッチング成立 140人（102人）
企業数：88社（78社）、うちマッチング成立 61社（52社）
- ・ものづくり企業見学ツアー
参加留学生数：未定（㈱ニデック 31人）

＜若手技能者の育成支援＞

- 技能を尊重する機運の醸成を図るため、中小企業の若手技能者を対象とする技能競技大会（町工場技能者コンクール）を実施

2019年度取組状況（2018年度実績）

- 実施内容：事業終了（建築大工、建築板金、電気溶接 40人）

- モノづくりの魅力を浸透させるため、技能五輪のメダリスト等による出前講座を小中学校等で実施するとともに、小中学生を対象にした技能大会を実施

2019年度取組状況（2018年度実績）

- ・出前講座の参加校数：48校（52校）
- ・少年少女技能大会（アイチータ杯）の実施：2競技（3競技）

- 指導力に優れた企業OB等の熟練技能者を「あいち技の伝承士」として認定し、「あいち技能伝承バンク」に登録するとともに、中小企業や工業高校からの要請に応じて講師として派遣・紹介

2019年度取組状況（2018年度実績）

- ・登録者数：26職種62人（24職種60人）
- ・派遣件数：31団体159人日
[中小企業21、学校10]（30団体 [中小企業22・学校8]、140人日）
- ・新たに外国人技能実習生を対象とした技能指導に対して派遣

【計画のアウトプット指標】

項目	目標数値	2018 年度実績	2017 年度実績	2016 年度実績	進捗状況 1	進捗状況 2
⑨航空宇宙産業の人材育成研修の参加者数	12,000 人日 (2020 年度までに)	565 人 3,525 人 (累計)	900 人 2,960 人 (累計)	2,060 人	達成が困難	航空機の納入延期が要因となっているが、将来的な増産、量産化を見据え、引き続き、機体構造組立に関する人材育成支援等を実施していく。
⑩新技術に対応できる人材の育成人数	4,800 人 (2020 年度までに)	1,394 人 3,924 人 (累計)	1,629 人 2,530 人 (累計)	901 人	概ね達成	引き続き、セミナーや新技術講演会等を開催し、新技術に対応できる人材の育成を支援する。
⑪計測分析機器等に関する研修の参加者数	12 人/年度	17 人	18 人	23 人	達成	引き続き、計測分析機器実習等を実施する。
⑫モノづくり現場で働く女性のロールモデルを発掘・紹介	100 人 (2020 年度までに)	31 人 95 人 (累計)	30 人 64 人 (累計)	34 人	その他	2018 年度末をもって事業終了。 働く女子の魅力発信に一定の成果が得られ、事業をスクラップ&ビルドしたため。
⑬IT スキルを有する技術者向け講習会の参加者数	100 人/年度	319 人	320 人	144 人	達成	IoT の導入に向けた座学と実習の講座を実施する予定。
⑭町工場技能者コンクール参加者数	30 人/職種/年度	3 職種・計 40 人	3 職種・計 51 人	3 職種・計 36 人	その他	2018 年度末をもって事業終了。 好調な経済情勢を背景に、中小企業が本業を優先し、コンクールに参加する人材を輩出することが困難で、参加者数が少なかったため。
⑮技能五輪メダリストによる出前講座の参加校数	50 校/年度	52 校	52 校	51 校	達成	引き続き、若者のモノづくりへの関心を深めるため、事業周知に努めていく。
⑯熟練技能者の派遣件数	100 人日/年度	140 人日	104 人日	100 人日	達成	企業等からのニーズは高く、引き続き派遣要望の内容を確認しながら実施していく。

【施策の柱②：中小・小規模企業の人材育成・能力開発支援】

＜企業・業界及び在職者・求職者のニーズに対するきめ細かな対応の強化＞

- 人材育成の重要性を啓発し、経営者の意識改革を図るため、森岡副知事を塾長に、中小企業経営者を対象とした人材育成塾（森岡塾）を開催

2019年度取組状況（2018年度実績）

- ・開催回数：4回（4回）
- ・参加者数：30人程度/回（延べ66人）

- 愛知県産業労働センター等において、中小企業の様々な支援策に関する情報提供などをワンストップで実施

2019年度取組状況（2018年度実績）

- ・相談対応件数 愛知県産業労働センター：2,737件（8,184件）
産業人材育成支援センター：73件（199件）

- 中小企業や中小企業団体が自ら実施する認定職業訓練に対し助成を行うとともに、訓練に関する指導、助言、情報提供等を実施

2019年度取組状況（2018年度実績）

- ・認定訓練（普通課程）補助対象者数：151人（184人）

- 中小企業の人材育成力向上に資する経営者や幹部社員向けの研修メニューを提供する商工会議所等への支援を実施

2019年度取組状況（2018年度実績）

- ・研修参加者数：未定（3,981人）

- 新ジョブ・カードを活用したキャリアコンサルティング、訓練成果の評価を実施

2019年度取組状況（2018年度実績）

- ・愛知地域ジョブ・カード運営本部会議を開催し、「新ジョブ・カード制度愛知県地域推進計画」に基づく2018年度におけるジョブ・カード取得者数の目標値を14,850人以上と決定

- ・「訓練受講希望者等に対するジョブ・カード作成支援推進事業」を実施し、ハローワーク利用者に対する作成支援推進セミナー及びジョブ・カード作成支援を目的としたキャリアコンサルティングを実施

- 愛知県職業能力開発協会が、愛知県職業訓練会館内において職業訓練の実施場所を提供し、企業のOff-JTを支援

2019年度取組状況（2018年度実績）

- ・訓練受講者数：1,665人（1,584人）

＜労働生産性の向上に向けた支援＞

- 愛知県職業能力開発協会が、主に生産現場の監督者を対象としたTWI訓練（仕事の教え方、改善の仕方、人の扱い方を内容とする企業内訓練）を実施

- あいち産業振興機構において、専門家を派遣することで、生産工程の合理化等、生産性の向上につながる支援を実施

2019年度取組状況（2018年度実績）

- ・専門家派遣件数：28件（45件）

＜人材育成・能力開発に向けた関係機関（産業界、労働界、教育界等）の連携強化＞

- 愛知県産業人材育成支援センターに配置された「産業人材育成連携コーディネーター」が、中小企業や商工会議所等の関係団体を訪問し、ネットワークを強化。

- 愛知県地域職業訓練実施計画に基づき、愛知労働局、県、（独）高齢・障害・求職者支援機構愛知支部が連携し、公的職業訓練を計画的、効果的に実施。

- ・働き方改革から人材確保を行うための課題とその支援として、ITリテラシーを習得するための訓練を強化するとともに、RPA技術者を育成するための訓練を「地域レベルのコンソーシアムによる職業訓練の開発実施コース」として実施するため、コンソーシアムを設置し検討

【計画のアウトプット指標】

項目	目標数値	2018年度実績	2017年度実績	2016年度実績	進捗状況 1	進捗状況 2
⑰人材育成塾への参加経営者数	60人	66人	91人	74人	達成	幅広い業種の中小企業の経営者に人材育成の重要性を再認識してもらう機会となっており、内容を見直しつつ、引き続き実施していく。
⑱インターンシップ受入企業数	企業 25 社、学生 25 人以上(うち、教員志望学生 5 人以上)	23 社 24 人(うち、教員志望学生 6 人)	27 社 41 人(うち、教員志望学生 6 人)	27 社 51 人(うち、教員志望学生 6 人)	その他	2018 年度末をもって事業終了。モデルケースとなる受入プログラムが蓄積されたことから、今後はポータルサイト「ひと育なび・あいち」で情報発信していくこととしたため。
⑲ワンストップ窓口の相談対応件数	25,000 件(2020 年度までに)	8,184 件 24,604 件(累計)	8,857 件 16,420 件(累計)	7,563 件	概ね達成	目標達成に向け、順調に推移しているため、今後も引き続き実施していく。
⑳認定訓練(普通課程)補助対象者数	200 人/年度	184 人	185 人	191 人	概ね達成	訓練生数数の増加に向けて、技能検定の受検促進や巡回指導等、認定職業訓練実施事業所及び団体の意見の確認に努めていく。
㉑経営者や幹部社員向け研修参加者数	620 人/年度	3,981 人	3,137 人	1,655 人	達成	目標達成に向け、順調に推移しているため、今後も引き続き実施していく。
㉒県の公共訓練におけるジョブ・カード活用件数	4,000 件/年度	3,355 人(速報値)	3,544 人	3,936 人	概ね達成	求職者の減少によるが、2019 年 10 月から教育訓練給付金の拡充に伴い在職者における作成が見込まれ、また、ジョブ・カードを活用する助成金等の利用についても積極的に周知に努めていく。
㉓愛知県職業能力開発協会が行う訓練の受講者数	1,600 人/年度	1,584 人	1,678 人	1,686 人	概ね達成	受講者数の増加に向けて、会員企業等にホームページ等で訓練の周知・広報活動に努めていく。
㉔専門家派遣件数	200 件(2020 年度までに)	45 件 150 件(累計)	46 件 105 件(累計)	59 件	概ね達成	目標達成に向け、順調に推移しているため、今後も引き続き実施していく。

【施策の柱③：キャリア教育・職業教育の推進】

＜発達段階に応じたキャリア教育の推進＞

- 県立高等学校において、インターンシップ等の体験活動を拡充

2019年度取組状況（2018年度実績）

- ・県立高等学校（全日制）全校（147校）でインターンシップを実施
参加者数：未定（20,279人）

- 社会人講師やインターンシップの橋渡しを円滑に行うため、コーディネーターや専門人材を活用

2019年度取組状況（2018年度実績）

- ・キャリア教育コーディネーター活用事業において、4名のコーディネーターが、モデル校16校のインターンシップの受入先や普通科・総合学科を設置する県立高等学校（全日制）113校のキャリア教育に関する社会人講師を開拓（161講座）

- 県立知的障害特別支援学校高等部へ「職業コース」を設置

2019年度取組状況（2018年度実績）

- ・2019年度設置校：3校（2校）

- 「障害のある生徒の就労支援のための映像コンテンツ（動画）」を活用
・各特別支援学校及び就労アドバイザーに配備したタブレット端末を用いた職場開拓や進路指導等の実施

＜産業界・地域と連携したキャリア教育の推進＞

- 産学行政、教育関係者、職業能力開発機関が連携して、地域を挙げてあいちの「人財力」を強化するために設置した「愛知県産業人材育成連携会議」において、職場体験・インターンシップ等キャリア教育の充実方策を検討

2019年度取組状況（2018年度実績）

- ・県始め12団体が開催する出前講座やモノづくり体験事業等を「あいちキャリア教育地域連携事業」と位置付け、連携して情報発信
- ・小中学校の教員を対象としたモノづくり中小企業見学会：
2回、4企業（2回、4企業）

＜モノづくり離れ対策の推進＞

- 出張発明クラブ（活動体験）の開催など、モノづくり・科学技術と子供や若者を結ぶ取組を強化

2019年度取組状況（2018年度実績）

- ・出張発明クラブの開催：5回予定（8回 273人）
- ・科学大好き！こどもサイエンスラボの開催：1回（1回 1,001人）
- ・ノーベル賞受賞者顕彰施設の2020年度内のオープンに向け、名古屋市と共同で施設改修、展示制作を実施

＜専門高校における職業教育の充実＞

- 県立工業高校におけるモノづくりスキルアップ講座、キャリアリンク講座を実施

2019年度取組状況（2018年度実績）

- ・地域の企業と連携し、産業界のニーズを踏まえた実践的な技能習得の仕組みを確立し、今後の地域産業界を担う人材の育成を目指した「地域ものづくりスキルアップ講座」の実施：17校（17校）
- ・工業・商業・家庭・看護・福祉科を対象とした地域産業専門講座の実施：50校（49校）
- ・農業科を対象としたGAP教育推進講座の実施：11校（10校）
- ・高校生の技能検定合格者数：800人（872人）

- （公社）愛知県技能士会連合会が事業主体となり、教員向けの建築大工講座を開催

2019年度取組状況（2018年度実績）

- ・参加者数：8校8名（7校7名）

【計画のアウトプット指標】

項目	目標数値	2018年度実績	2017年度実績	2016年度実績	進捗状況 1	進捗状況 2
②⑤ 県立高等学校におけるインターンシップに参加した生徒数	18,000 人/年度	20,279 人	18,243 人	17,323 人	達成	引き続き、県立高等学校において、インターンシップ等の体験活動を拡充する。
②⑥ 特別支援学校高等部卒業生の一般就労の就職率	50%	37.8%	38.2%	36.9%	進展が大きくない	知的障害特別支援学校に加え、他の障害種に対する就労支援の拡大、さらにこれまでの製造業を中心とした職場開拓だけでなく、幅広い業種への職場開拓の拡大を図っていくことが課題である。このため、2019年度から就労アドバイザーを3名に増員し、障害種の特性に合った就労支援を強化するとともに、職場定着の充実に努めていく。
②⑦ 大学生の職場体験・見学参加者数	180 人/年度	-	86 人	149 人	その他	2017年度末をもって事業終了。 学生側、企業側ともにインターンシップが定着してきており、行政主導による職場体験実施は一定の役割を果たしたため。
②⑧ 出張発明クラブ参加者数	120 人/年度	273 人	327 人	188 人	達成	引き続き、発明クラブ未設置の市町村において、多くの子供たちに発明クラブの活動を体験してもらうことにより、次代を担う子供たちの科学技術に対する興味・関心を高めていく。
②⑨ 高校生の技能検定合格者数	800 人/年度	872 人	816 人	716 人	達成	引き続き、地域ものづくりスキルアップ講座等の実施を通じ、モノづくり人材を育成する。
③⑩ 工業高校等の教員への指導力向上のための講習の実施	講習の充実	実施	実施	実施	達成	団体と連携の上、今後も引き続き実施していく。

【計画のアウトカム指標】

項目	目標値（愛知県）	最新値（2018年（年度））	2017年（年度）	計画策定時（2016年度）
① 労働力人口の全国シェア	6.20%（2020年までに）	6.08%	6.04%	6.10%（2014年）
② 労働力率	62.0%（2020年） ※ 高齢化に伴う低下傾向の中、2012年水準（61.7%）を維持	63.6%	62.4%	62.7%（2014年）
③ 若者（25歳～44歳）の完全失業者数	50,000人以下（2020年までに）	25,000人	42,000人	51,000人（2014年）
④ 女性（25歳～44歳）の労働力率	73.1%（2020年までに）	74.7%	73.1%	70.1%（2014年）
⑤ 高齢者（65歳以上）の労働力率	24.8%（2020年までに）	25.0%	22.9%	23.8%（2014年）
⑥ 民間企業における障害者の法定雇用率達成	2.2%（2020年までに）	1.97%	1.89%	1.74%（2014年）
⑦ 技能検定合格者数	8,500人/年度	8,013人	8,284人	7,800人（2014年度）

【進捗状況の総括】

- 計画期間の折り返しを過ぎ、アウトプット指標 30 項目のうち、22 項目において、達成又は概ね達成しており、具体的な施策は着実に進捗している。
- 一方、目標達成が困難な指標が 2 項目あることから、目標数値に近づけられるよう、関係者間で情報共有し、施策の改善、見直しを図っていく。
- アウトカム指標（目指すべき地域の姿）についても、7 項目のうち、すでに 4 項目において達成していることから、この水準を維持、更に拡大していくため、引き続き、これら具体的な施策を着実に実行していく。